

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度

令和7年度

1 基本情報

公の施設名	相模原市立診療所（青野原診療所、千木良診療所、藤野診療所）
指定管理者名	日本赤十字社
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）
施設設置条例	相模原市立診療所条例
施設の設置目的	診療、看護、公衆衛生活動等を行うため
施設概要	◆市立青野原診療所：相模原市緑区青野原2015番地2 昭和39年2月1日（平成22年4月1日に神奈川県から移管）開設 ◆市立千木良診療所：相模原市緑区千木良852番地8 昭和42年4月1日（平成22年4月1日に神奈川県から移管）開設 ◆市立藤野診療所：相模原市緑区小淵1656番地1 昭和36年7月1日（平成22年4月1日に神奈川県から移管）開設
施設所管課	健康福祉局 保健衛生部 医療政策課

2 管理実績

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数合計（人）	15,944	12,291	13,376	13,524	15,178	15,526	14,536
うち 往診患者延数	269	152	197	188	248	425	297
診療収益（円）	160,046,152	133,917,662	143,319,635	141,659,181	158,890,586	157,275,430	146,297,293
診療単価（円）	10,038	10,896	10,715	10,475	10,469	10,130	10,064

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
D	目標値である昨年度実績を大きく下回っていることからD判定とする。訪問診療の診療のニーズは高いと考えられることから、減少の大きかった藤野診療所においては積極的な対応を期待する。

指標1

指標名（人）	訪問診療の利用者数（地域住民が必要な医療として需要の増加が見込まれるため）
指標式と指標の説明	3診療所の年間累計（目標値は前年度実績）

項目（単位）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値（人）	-	-	152	197	188	248	425
実績値（人）	269	152	197	188	248	425	297
達成度（%）	-	-	129.6%	95.4%	131.9%	171.4%	69.9%

4 事業の実施状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	訪問診療の患者数が減少しているが、市が指定する事業については協定書及び仕様書に基づき、適正に遂行されていることから、A評価とする。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
地域住民に対する初期医療の提供及び病診連携による地域の医療水準の向上	通年	津久井地域における診療所として、相模原赤十字病院等と連携し、地域医療体制の維持に貢献した。	○
訪問診療の実施による在宅患者の支援	通年	訪問診療を年間を通して実施した。 (延べ往診患者人数:297人)	○
公衆衛生活動等の実施による地域住民の健康増進	通年	健康診断及び予防接種を実施した。 (1診療所あたり月平均14.2日実施)	○

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	「また利用したい」という評価の割合は目標の94.0%を上回る98.6%で、達成度は104.9%となったことから、A評価とする。診療待ち時間では昨年度一部低い評価もあったが、本年度においては昨年度の満足度を3診療所とも上回っていること、職員の対応についても高い満足度が得られていることは評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	「診療所職員の対応」、「診療待ちから会計までの待ち時間」項目において、利用者を対象にアンケート調査を実施した。 サンプル数: 青野原…120、千木良…149、藤野…282 実施時期: 令和7年1月7日～令和7年1月25日
目標値の基準	利用者から「また利用したい」との評価を受けている割合の3診療所の平均値が、前年度までの平均値を上回ること

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)	92.4	92.7	92.9	93.2	93.5	93.8	94.0
実績値(%)	95.4	95.4	96.4	98.3	98.7	98.9	98.6
達成度(%)	103.2%	102.9%	103.8%	105.5%	105.6%	105.4%	104.9%

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
S	市が指定する事業の収支は黒字であり、指定管理者団体本体の経営状況についても特段の問題はないため、S評価とする。しかしながら、患者数は3診療所とも令和6年度よりも減少していることから、新規患者の確保、再来患者の定着化に引き続き務めていただきたい。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入 (a)		224,365	225,109	218,902
指定管理料		64,706	66,664	70,727
利用料金収入		158,891	157,275	146,297
その他の収入		768	1,170	1,878
支出 (b)		189,169	196,997	193,889
材料費		33,143	33,277	31,051
給与費		115,580	120,641	119,104
委託費		23,676	26,245	26,514
設備関係費		7,516	8,531	7,411
その他の支出		9,254	8,303	9,809
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		35,196	28,112	25,013
自主事業収入 (d)		0	0	0
自主事業支出 (e)		0	0	0
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0
全体収支 [(c)+(f)]		35,196	28,112	25,013
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

7 管理業務の履行状況

検査方法	現地確認、書類提出及び指定管理者へのヒアリング	
実施時期	各診療所、指定管理者：令和7年7月4日実施	
検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	仕様書に定められた業務が適正に実施されていること及び環境配慮への取組が行われていることを確認した。
危機管理	適正に実施	安全管理・衛生管理・危機管理に関するマニュアルが整備され、緊急連絡体制が確立していることを確認した。
人員配置・地元活用	適正に実施	事業計画書及び従事者に関する届のとおり人員が配置され、勤務体制や労働条件・環境に問題が無いことを確認した。また、地元活用について事業計画及び第三者委託承認申請書のとおり実施されていることを確認した。
現金管理	適正に実施	現金受払簿が整備され、売上（診療報酬）、両替金、手許金等が適切に管理されていること、また売上（診療報酬）が毎日入金されていることを確認した。
会計・経理	適正に実施	通帳の出入金記録及び仕訳伝票にて、指定管理料及び文書料が適正に管理されていることを確認した。
情報セキュリティ	適正に実施	医療情報システム運用管理規定が整備され、従事者への周知（研修）が行われていること、ID及びパスワードが適正に管理されていること、PCにウイルス対策ソフトが有効に設定されていること、外部と通信を行うPCについてはファイヤーウォールが有効になっていることを確認した。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	プライバシーポリシー、情報開示に関する規定、文書管理に関する規定が作成されていることを確認した。また、文書管理に関する規定に基づいて文書が作成されていることを確認した。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	業務の再委託、備品の調達と廃棄、従事者の変更について報告及び事前承認が行われていることを確認した。
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和7年度は患者数は990人、訪問診療患者数は128人減少しており、外来診療収益は1,100万円減少した。今後の課題は訪問診療患者数と検査数を増やしていくことである。令和7年度末に青野原診療所、令和8年度初めに藤野診療所に心臓エコーの検査が可能な機器を導入したため、検査数の増加が見込まれている。令和8年度はさらなる患者数増加に繋がるように相模原赤十字病院を基軸に近隣医療機関との機能連携及び地域開業医などとの連携を一層強化し紹介患者の増加を図りたい。また、令和3年、4年、5年、6年と同様に現状は指定管理料により黒字となっているが、質の高い医療を目指しつつ経営改善できるよう努めたい。

10 所管課意見

令和7年度は前年度よりも全体の患者数、訪問診療の患者数も減少してしまっている。特に藤野診療所の減小値が大きいことから、患者数の増加に努めていただきたい。地域活動への協力や予防医療・健康活動に関する住民サービスについては、昨年度実施されていなかった青野原診療所の実施は確認できたが藤野診療所においては、企画したが参加希望者がいなかったことから未実施となったことであったため、内容を見直し実施することで地域医療への貢献について取り組んで欲しい。

現地確認において、昨年度指摘したマニュアルの更新については対応されていたが、植え込みが民地に入っている点については、改善がなされていないことから、適切な管理運営に努めていただきたい。

11 選考委員会意見

・令和6年度と比較して、利用者数が減少したものの、利用者満足度調査において、「また、利用したい」との評価が98.6%と、目標値を上回る高い水準であり、診療所利用者に対する職員の皆様の温かく丁寧な対応を評価します。

高齢化や人口減少が進んでいく中、今後も、地域のニーズに合った医療提供とともに、生活習慣の改善や健診受診への働きかけなど、地域住民に対する予防的な活動に一層取り組んでいただくようお願いします。

・＜公衆衛生活動の実施、病診連携について＞

医師会は上記活動を積極的に行っています。現在のところ診療所の医師会活動への参加が芳しくない状況です。

医師会活動に積極的参加をしていただき上記目標をより充実させてもらうように望みます。

・人口が減少しているという前提はあるが、前年度と比較すると患者数が減少している。特に藤野診療所が顕著とこのことがあるので、奮起に期待したい。

利用者の満足度調査の評価が上がってきているとこのことがあるので、過年度から改善の成果が出てきたと思われる。今後も継続を期待したい。

・広大な人口減少・高齢化地域で訪問診療も含め、住民の健康を守る努力をされていることは高く評価されると思います。

総合評価（自動判定）

B

(65/100)

